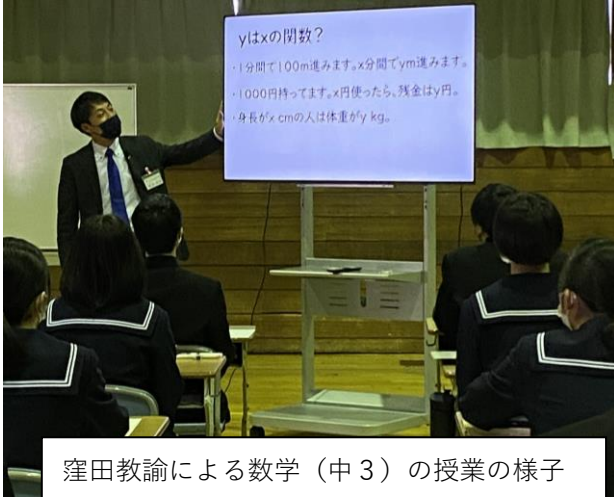


長沼小中が互いに公開研究会を開催



窪田教諭による数学（中3）の授業の様子



川上教諭による研修の説明の様子

【長沼中学校公開研究会】

11月1日（月）、長沼中学校にて『主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業作り』を研究主題として公開研究会が行われました。コロナ禍ではありますが、換気や密を避け感染対策を行った体育館に中学3年生の特設教室を設置。空知管内から多くの参観者に見守られる中、タブレットを活用して「関数 $y=ax^2$ 」の特徴を見つける学習を行いました。窪田悠馬教諭（T1）の指導の下、西尾綾太教諭（T2）、二階堂充教諭（T3）が生徒の学習をサポートしながら、授業支援アプリ「school takt（スクールタクト）」を活用し、表や式、グラフを用いて、グループで話し合わせながら関数の特徴に迫りました。タブレットを使いこなしながら、しっかりと話し合いを進める姿に、私たちが目指す15才の長沼の子供達の姿が見られました。



見つけた関数の特徴をタブレットで発表する中学3年生

【長沼小学校公開研究会】

11月5日（金）には、長沼小学校で『主体的・対話的に学び合う子どもの育成～iPadを活用した授業作り～』を研究主題とした公開研究会が行われました。感染症対策として、児童の授業は事前に録画。公開研当日は、その授業の様子を映像で参観しました。一つ目の授業は、高橋優子教諭（T1）と神島美夏教諭（T2）による4年算数「面積」の授業を。二つ目の授業は、5年生の宮内克博教諭（T1）と黒川広佳教諭（T2）による5年算数「割合」の授業です。両授業ともiPadで学習支援アプリ「ロイロノートスクール（以降ロイロ）」を活用。4年生の授業では、ロイロで面積の求め方を考えたり、交流したりしました。5年生では、同じくロイロで学習のヒントを得たり、グループでの話し合いに活用する場面が盛り込まれ、ICTを活用した学び合いの学習の様子が展開されました。



タブレットを活用して話し合う5年生



ロイロノートで面積を求める4年

このように長沼小中の両校が公開研究会を同時期に行い、また、それを互いに授業参観しながら研修を深めました。

小学校の教諭は、中学校の生徒の授業中の姿に、小学校の児童に今後求められる力が何であるのかを考えさせられました。中学校の教諭は、小学校でどのような指導を受け、どのような力を身につけた子どもたちが中学校へ上がってくるのかを把握する、良い機会となりました。

小中一貫の取り組みは、それぞれの学校で確実にフィードバックされ、長沼の子供たちにさらに還元されていくこととなります。

小学6年生が、中学校へ体験登校！



阿部主幹の言葉を真剣に聞く6年生



緊張しつつ中学生の授業を参観

11月2・8・9日の3日間、小中一貫教育の取り組みで、長沼小6年生の3クラスが1日ずつ中学校での体験登校を行いました。まず始めに、中学校の阿部主幹教諭から「中学校生活に向けた準備について」の話を聞きました。「何事もできることからでいいから、今から準備をコツコツとしていきましょう」の言葉を聞く6年生の表情に、あらためて中学校入学への意欲と勇気が湧いているのを感じました。

中学生全学級の授業風景を参観した後、中学校の英語教師の原口教諭とALTのアンディ先生から直接英語の授業を受けました。とても楽しかった様子で、ある男子児童は、「早く中学校へ行ってみたいな!」とほりきっていました。



休み時間も全力で遊び、交流しています

中学2年生が、小学校へ職業体験！

10月12・13日の両日、長沼中2年生16名が二手に分かれ、1日ずつ小学校で職業体験を行いました。小学校の全クラスに一人ずつ配置された中学生。朝、鳥巣教頭から「教職員の仕事の良さを発見し、将来に役立てるような1日にしてください」と励ましを受け、それぞれの教室へ。2時間目の自己紹介の後から5時間目が終わるまで、給食時間以外はずっと小学生と過ごしました。授業中は、困っている子に声をかけ、休み時間は小学生と一緒に鬼ごっこに参加。あっという間に児童の人気者になっていました。ある生徒は、「先生方は、子どもの意見を絶対に否定しないのですごいなあと感じました。とても楽しい1日でした。」と話していました。

最後に、小学校の高羅校長から、「相手に心を開いてもらいたい時は、自分から心を開いていってください。これからは先輩として、もしくは将来教師として、そういう温かい心で相手を包み込んであげてください」との言葉に、参加した中学生



一人一人優しく声をかける中学生

もうなずきながら聞いていました。

小中一貫で、小学校と中学校の児童生徒や教員の交流が増え、互いにそれぞれでは体験できない学びをし、それをまた自分たちの今後の学びに活かしていきます。



「明日も来てね！おねがい！」